

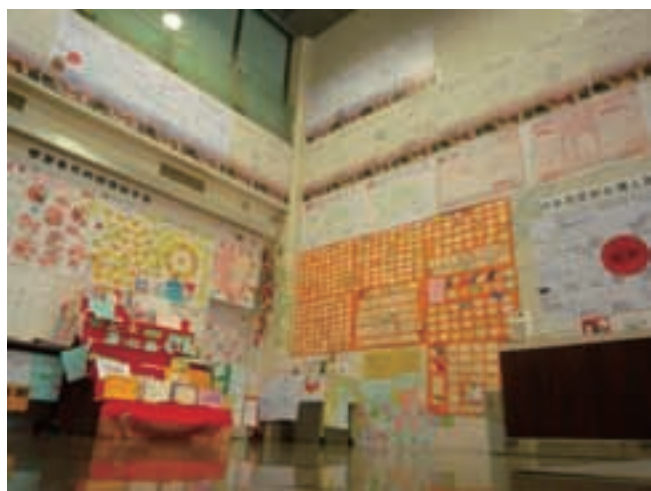
東日本大震災：台湾からの支援、台湾への感謝 ～～～実にいろいろあります

(財)交流協会台北事務所 総務部長 堤 尚広

3月11日に発生した東日本大震災。その直後から世界中から慰問、激励、支援が寄せられました。台湾からは、熱烈で圧倒的な応援が日本に届けられました。思いつくものを書き出しただけでも次のようなものがあげられます。

- ・馬英九総統ほか台湾要人から日本の要人への慰問書簡
- ・救難隊の派遣
- ・緊急支援物資の提供
- ・チャリティー番組
- ・170億円近い義捐金
- ・王金平立法院長等による、日本訪問による支援
- ・激励のメッセージ

ここで特に注目したいのは、激励メッセージです。それには実に様々な形があります。これは、台北事務所に張り出されたものです。寄せ書きの書き手は幼稚園児から80歳以上の方まで幅があります。



その中身も、メッセージカード、千羽鶴、写真、寄せ書き、そして、短歌もあります。メッセージは、日本語のものがたくさん含まれていました。

そこには、自分の家族を思いやり労わるかのような篤い思いが感じられます。また、このような形で表現した方もおられました。



3月13日のことでした。その花束には、「日本国民、平和を祈り」と書いてありました。そのほかにも、インターネット上に日本への応援メッセージを動画や画像で掲載したのも多数あります。手のひらに「がんばれ日本」や「日本の平和（無事）を祈ります」という文字を書いた、そのたくさんの人の手のひらが次々と現れる動画も印象的でした。

このような熱烈で心のこもった応援に対して、日本人はどのように感謝を表現したのでしょうか。例を挙げてみます。

- ・民間有志による新聞広告「ありがとう、台湾」が台湾紙2紙に掲載された
- ・「謝謝台灣」という文字を手のひらに書いた、たくさんの手のひらが次々と映し出される、動画がインターネット上に多数掲載された
- ・日本人鉄道マニアが日本などの鉄道に関する写真集を台湾鐵路管理局に贈呈した（写真集には

被災した岩手県の鉄道が含まれるそうです)

- ・台湾北部海岸の砂浜で、日本人彫刻家が「ありがとう台湾」という題名で2 m30cm という巨大な砂の彫刻を作製した
- ・台北国際セキュリティー博覧会の会場で、日本企業の職員が「台湾の皆さんが私たちに与えてくださったご支援に感謝します」とのメッセージがプリントされたTシャツを着ていた
- ・インターネット上の伝言板上で台湾への感謝の書き込みが、無数にあった
- ・ゴールデンウィーク期間中に、森・元総理や衛藤・国会副議長をはじめ 30 人を超える国会議員が台湾を訪問して、感謝を伝えた
- ・交流協会、台湾日本人会、台北市日本工商会が台北で記者会見を開き、在台湾邦人を代表して感謝を伝達した
- ・菅総理の感謝メッセージが、馬英九総統他台湾要人に届けられ、また、台湾の新聞やテレビで報じられた
- ・交流協会に対して、台湾への感謝メッセージが届けられた

私個人にとっては、最も鮮烈な印象を残したのは、ある日本の方が日本から海を越えて届けてこられた感謝メッセージの寄せ書き（横断幕）でした。次の写真がそれです。

この寄せ書きは、日本から台湾に持参された物です。東日本大震災における台湾の方々の支援に感銘を受け、東京都上野公園で道行く人にメッセージを書いてもらったそうです。

このように見てくると、一つのことが明確に浮かび上がってきます。それは、支援した台湾も、感謝を表明した日本も、実に様々な異なる個人や集団が、実に創意工夫に富んだ様々な方法で、支



援や感謝を表現していることです。これは、本当に素晴らしいことだと思います。そして、その創意工夫の根底には、「何とかして、支援を受け取る側、感謝を受け取る側が、より良く支援や感謝を受け取ってくれるようにしたい」という気持ちがあったと確信します。この一点において、全ての人が心をつなげてまとまっていたと断言したいと思います。

本稿を読んでいただいた方には、日本の台湾への感謝の程度を「政府の広告の有無」という狭い言葉だけを物差しにして測ることはないことをご理解いただけるものと思います。

相手を思いやる気持ちの強さが、日本と台湾の関係を支えていることを強く実感します。

最後に、改めて、台湾の人々が日本に届けてくださった真心と熱いご支援に、日本人の一人として、心より感謝申し上げます。

(ここに掲載した応援メッセージや感謝メッセージはほんの一部です、こちらでもっとたくさんご覧いただけます。http://www.koryu.or.jp/taipei/ez3_contents.nsf/Top)